

第13回福井県障がい者スポーツ大会 フライングディスク競技実施要領

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

(1) 競技種目

競技は、アキュラシーのディスリート・ファイブ、ディスリート・セブンとディスタンスとする。

(2) 競技用具

競技は、主催者が用意した公式用具により行う。

(3) アキュラシー

- ・アキュラシーゴールは、直径(内径)91.5cmの円形で、外径の最下部は地面から61cmとし、足留材(スローイングライン)の中央からの距離は、ディスリート・ファイブは5m、ディスリート・セブンは7mとする。
- ・投げ方は自由とし、試技は10投連続して行う。
- ・得点は、ディスクが地面に直接触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とはならない。同得点の場合は、3回の追加試技によって順位を決定する。

(4) ディスタンス

- ・競技は、以下の4つの区分に分けて行う。
 - 座位女子(レディース・シティング)
 - 座位男子(メンズ・シティング)
 - 立位女子(レディース・スタンディング)
 - 立位男子(メンズ・スタンディング)
- ・スローイングエリアは、スローイングラインとスローイングエンドラインを結ぶ四角形(1.6m×1.8m)の範囲とし、エリア内で、スローイングしなければならない。
- ・プレーヤーは試技の前に1投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。
- ・投げ方は自由とし、試技は3投連続して行う。
- ・投げられたディスクの有効範囲は、スローイングラインの前方180°以内とする。
- ・試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。
- ・座位で競技する場合のシートの高さはクッションを含めて75cm以下とする。

3 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装(運動しやすい服装等)とし、靴はスパイクが付いていない運動靴を着用する。
- (2) ナンバーカード(ゼッケン)は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部および背部に付ける。

4 受付・招集

- (1) 選手は競技会場到着後、選手受付所において所属団体ごとに受付を行う。
- (2) 選手招集所は、競技会場内に設ける。
- (3) 招集は、プログラム記載の競技開始予定時刻の20分前に開始し10分前に完了する。
- (4) 選手は招集完了時刻までに選手招集所に集合し、競技役員の点呼を受ける(代理は認めない)。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。

(5) 競技場およびサイトへの入退場は、すべて競技役員の誘導により行う。

5 介助者

- (1) 介助を必要とする選手は、あらかじめ主催者の承認を得なければならない。
- (2) 介助者等の引率者が競技会場に入場を希望する場合は、様式4 競技会場入場申請書を事前に提出するとともに、受付時に体調チェックシートを提出しなければならない。
なお、大会当日の申請については、急遽、介助者を要する事情が発生した場合のみ、介助者（体調チェックシート提出者に限る）の入場を申請できる。ただし、初参加のため「不安がっている」、「緊張している」等、助力行為とみなされる場合の申請は認めない。

※上記「体調チェックシート」の対応については、選手募集時点のものとなっているため、今後の状況に応じて変更等が有り得ることにご留意ください。

- (3) 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利となるような助言等をしてはならない。

6 開始式・表彰式

- (1) 開始式および表彰式は、競技会場で行う。
- (2) 表彰は、各サイト単位で1位の競技者にメダルを授与する。
- (3) メダル授与は、各サイトの競技終了後順次行う。

7 その他

- (1) 競技時間、競技順はすべてプログラム記載のとおりとする。ただし、やむを得ない事情がある場合は変更することもあり得る。
- (2) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (3) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。